

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

潤いと賑わいに満ちた水とみどりの都市づくり

2 地域再生計画の作成主体の名称

延岡市

3 地域再生計画の区域

延岡市の区域の一部（小峰舞野地区、吉野地区、貝の畑地区、細見地区、上三輪地区、中三輪地区、稲葉崎地区）

4 地域再生計画の目標

延岡市は宮崎県の北部、宮崎・大分・熊本の間地点に位置している。古くは譜代大名内藤家の城下町として栄えてきたが、大正12年の日豊線開通により宮崎県北地域における物産の集散地としての経済的地位を確立するとともに、同年、旭化成（株）の前身である日本窒素肥料（株）延岡工場が建設されたことに伴い、東九州随一の工業集積地として発展を遂げ、現在、人口121,706人（平成17年12月1日現在）を有する宮崎県北地域における産業経済・教育文化の中心都市となっている。

本市は、工業都市として発展する一方で、西に祖母傾国定公園の山並みを望み、東にリアス式海岸を有する日豊海岸国定公園が広がる風光明媚で自然豊かな都市であり、大小いくつもの河川が市内を流れることから「水郷のべおか」と呼ばれ、水の郷百選にも指定されている。

市の中央部は五ヶ瀬川をはじめ大瀬川、祝子川、北川の4つの1級河川が分合流しつつ流れて、初夏から秋にかけては「鮎漁」が行われている。特に大瀬川・五ヶ瀬川の秋の「鮎やな」には県内外から多くの観光客が訪れ貴重な観光資源ともなっている。

また、日豊海岸国定公園の指定を受けている海岸地域は、海水浴場やキャンプ場、レクリエーションやスポーツの場として広く活用されると共に、絶好の釣り場として多くの人に親しまれている。

本市では、このような恵まれた水環境を守るために、昭和27年から市街地を中心に公共下水道事業の整備に取り組み、その結果、現在、汚水処理人口普及率が81.8%となっている。

しかしながら、近年、周辺市街地の住宅地や農村地域においては、宅地化が進み、生活様式の変化に伴って、生活雑排水の流入による河川の汚濁といった公共用水域の水質悪化が進み生態系など自然との調和に配慮しながら生活環境の整備を促進する必要が生じてきた。

このため生活環境の改善を図るために、生活排水対策総合基本計画に基づき、公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業及び浄化槽事業を展開しているが、水質と生活環境の改善は十分でなく、早急な改善が求められている。また、市民意識調査等（平成12年実施）においても、市が取り組むべき課題として「河川や大気汚染状況を監視し、公害の発生を防ぐ」ことが上位に挙げられている。

そのようなことから、延岡市では平成16年3月にISO14001を取得するなど環

境に配慮したまちづくりを推進してきた。

こうした取組みに加え、本交付金事業により集合処理地区周辺部において、新たに市が設置し維持管理まで行う浄化槽(市町村設置型)事業を創設して集合処理と一体的な整備に取り組むことにより、汚水処理を一層促進し、汚水処理人口普及率の向上を図り、公共用水域の水質保全や生活環境の改善に努め、「潤いと賑わいに満ちた水とみどりの都市」の実現を図っていく。

また、水質保全のためには、水環境に対する市民の意識の高揚を促す「下水道デー」「処理場見学会」などの各イベントの更なる充実を図りながら、生活排水に対するより一層の普及啓発を行う。

特に本交付金で行う事業については、延岡市環境基本計画に定める基本施策の1つである「水環境の保全」に資するものとして取組む予定であり、こうした取組みを通じて市民一人一人の環境問題に対する意識を高めて環境保全にかかわる地域活動への積極的な参加を促すほか、事業者にはリサイクル等の環境に配慮した事業活動を促すことで、市民と事業者、行政が一体となって市民が安心して暮らせるまちづくりを目指す。

(目標1) 汚水処理施設の整備の促進(汚水処理人口普及率を81.8%から88.0%に向上 汚水処理施設整備交付金で整備する施設以外の普及率を含む。)

(目標2) 河川の水質を改善(人口密集地区の汚水が流入する行藤川のBODを1.3mg/lから1.0mg/lに向上)

(目標3) 河川の水質を改善(人口密集地区の汚水が流入する稲田川のBODを2.9mg/lから2.5mg/lに向上)

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

市街地周辺の住宅地と農村地域において、汚水処理施設整備交付金を活用して公共下水道事業と農業集落排水及び市が設置し管理を行う浄化槽(市設置型)を一体的に整備し、市街地周辺部の汚水処理整備を促進することにより、河川や農業用水路の水質の保全及び生活環境の改善を図る。

また、下水道デーや処理場見学会などの各種イベントにおいて、住民への生活排水対策に対するより一層の普及啓発を図り、「潤いと賑わいに満ちた水とみどりの都市づくり」を目指す。

5-2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

- ・整備箇所等は別添の整備計画を示した図面による
- ・対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。
農業集落排水・・・平成16年4月に、事業採択の通知を国より通知を受けている。
公共下水道事業・・・平成13年3月に、下水道法の事業認可を取得している。

- ・汚水処理施設整備計画については、最新のデータに基づいて施設計画を再検討したもの

であり、既存の「宮崎県生活排水対策総合基本計画」(都道府県構想)に掲載された計画と異なる計画としたため、今回の都道府県構想の見直し時に反映することとする。

[事業主体]

- ・いずれも延岡市

[事業区域]

- ・ 農業集落排水施設 延岡市小峰舞野地区
- ・ 浄化槽(市町村設置型) 延岡市小峰舞野地区(農業集落排水事業実施区域を除く)、及び吉野地区、貝の畑地区、細見地区、上三輪地区、中三輪地区、稲葉崎地区
- ・ 公共下水道事業 延岡市稲葉崎地区

[事業期間]

農業集落排水施設	平成18年度～平成21年度
浄化槽(市町村設置型)	平成18年度～平成21年度
公共下水道事業	平成19年度～平成21年度

[整備量]

・ 農業集落排水施設	150～200	13,300m
・ 浄化槽(市町村設置型)	80基	
・ 公共下水道事業	150～200	14,200m

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

農業集落排水施設	小峰舞野地区で	2030人、
浄化槽	小峰舞野地区(農業集落排水事業実施区域を除く)、吉野地区、貝の畑地区、細見地区、上三輪地区、中三輪地区、稲葉崎地区で	320人
公共下水道事業	稲葉崎地区で	2800人

[事業費]

農業集落排水施設	事業費	1,030,200千円(うち、交付金515,100千円)
	単独事業費	6,000千円
浄化槽(市町村設置型)	事業費	78,618千円(うち、交付金26,206千円)
	単独事業費	8,000千円
公共下水道事業	事業費	472,000千円(うち、交付金236,000千円)
	単独事業費	506,100千円
合計	事業費	1,580,818千円(うち、交付金777,306千円)
	単独事業費	520,100千円

5 - 3 その他の事業

- ・ 公共下水道（通常補助分）
市街化区域を中心とした区域での下水道整備事業であり、生活環境の改善、水質保全などを図る。
- ・ 普及啓発の活動
「下水道デー」や「処理場見学会」など各種イベントを通じて河川浄化・環境保全を呼びかけ水環境に対する住民の意識高揚を図っていく。

6 計画期間

平成18年度～平成21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査、評価する。また、定期的に水質検査を実施し河川等の水質状況を把握し、各戸の水洗化を積極的に推進する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし。